

# カトリック六甲教会 教会報

2017

9

No.549

## インターネット利用問題とキリスト教

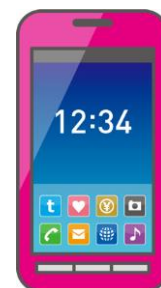
### 第3回 ネット時代の親、大人の役割

群馬大学名誉教授 下田 博次

カトリック新聞を読んでいると、教皇様が家庭の大切さについてたびたび言及されている。私もネット時代の今こそ、家庭の役割の大きさを訴えなくてはいけないと思う。インターネットには子どもの育ちに良い情報ばかりではない、有害な情報も多い。国により異なるが、ネット非行対策にかかわってきた私の判断では、日本は、特に日本語ケータイネット情報圏では中高生など未成年者を非行、犯罪に誘う情報が過去15年間どの国よりも増えている。そのため犯罪被害やネットいじめ被害等にあった子どもの親は、警察や学校に「何とかしてくれ」と泣きついてきたが、本来は自己責任を求める成人向けメディアとしてのウェブの被害、加害では、ネット端末を買い与える親の責任が問われる。これはインターネット先進国では常識である。

例えば、米国では1997年に「子どもに有害なネット上のワイセツ情報などを取り締まる通信品位法」が成立したが、表現の自由を求める企業と市民が最高裁判所に提訴し、法律は撤回された。裁判所は、ネットの有害情報対策は、家庭、親の責任。フィルタリングなどの努力をすべきだとの考えを示した。裁判所は「親がペアレンタル・コントロールの勉強をして、各家庭でフィルタリングをかける等対策をとる」ことを要求したのだ。

1999年日本では世界初の高校生向けのケータイというネット端末機が発売され、大ブームとなったが、この時点では、日本の大人にペアレンタル・コントロール（保護者によるメディア管理、指導の考え）の知識もなく、子どもに有害な情報を遮断するフィルター機能の大切さも知られていなかった。だからフィルター無しのケータイが売り出され、その結果、青少年の情報非行、犯罪が世界で例を見ぬほど広がった。ペアレンタル・コントロールという概念は、子どもの心身の成長に良い情報メディアを、親が判断して与え、指導する営みである。この発想があったから、米国の親たちはTVとネットの違いを学び、PC向けフィルタリング・サービスの向上を求めた。しかし、日本の企業が口火を切った携帯型ネット製品開発競争により、有害情報対策より難しいネット中毒対策の学びが必要となってきた。





## ナルドの花たより

どうか聖霊が世界全体に平和をもたらし、戦争とテロによる傷を癒してくださいますように。  
(2017/8/21)

ここ数日起きた攻撃の犠牲者すべてのために祈ります。盲目的なテロによる暴力が世界のどこにも存在できなくなりますように。  
(2017/8/19)

聖母マリアの被昇天はわたしたちの未来に関心を向けています。わたしたちに天を仰ぎ見させ、キリストの勝利をたずさえて、新たな天と地を告げ知らせるのです。  
(2017/8/16)

イエスの名において、わたしたちのあかしを通して、平和は可能だと示すことができるのです。  
(2017/8/5)

福音は、人から人へ広がる喜びに満ちた「よい知らせ」です。それは新しいいのちを抱き、人々にそれを与えるからです。  
(2017/8/2)

カトリック中央協議会による教皇フランシスコの邦訳リツイートより



### 2017年度 第3回地区役員会（2017年7月23日）議事録

出席者：アルフレド主任司祭、各地区役員

- 1 東ブロック（神戸中央、住吉、六甲）合同堅信式お祝い会 6月11日（日）報告（婦人会会長）
- 2 納涼の夕べ 8月19日（土）（18:00～20:00時）最終確認（納涼の夕べ企画チーム）
- 3 壮年会・婦人会主催バーベキュー（9月17日10時ミサ後）企画報告（壮年会会長）
- 4 チャリティバザー（11月12日）企画報告（チャリティバザー企画チーム）
- 5 地区会報告
- 6 その他

次回地区役員会 9月3日（日）議題予定



<行事報告>



### 納涼の夕べ（8月19日）— 手をつなぎ心をつないで夏祭り！ —

今年も「手をつなぎ 心をつないで 夏祭り」をテーマに、8月19日（土）の夜、納涼の夕べが行われました。今年の夏は天候が不順で、前週に予定されていた教会学校のキャンプが台風のため中止になったこともあり、当日の天候が心配でしたが、驟雨もなく幸いでした。

会場の設営は1時から始めましたが、メンバーが少しずつ入れ替わっており、信徒の高齢化を感じました。休憩を取りながら、3時にはほぼ設営を終えました。ミサが始まる5時過ぎから各地区



★宣教部より★

ユスト高山右近列福記念講演会

日時 : 9月16日(土) 14:00~16:00  
会場 : カトリック六甲教会 主聖堂  
講師 : 川村信三神父(上智大学文学部教授、イエズス会)  
テーマ : 「キリシタン大名高山右近の生涯に学ぶ信仰者の生き方」

※入場無料。事前申込み不要。  
ご来場には、公共交通機関をご利用ください。

★壮年会・婦人会より★

バーベキュー大会

秋めく昼のひととき、食べて、飲んで、楽しくすごしましょう！  
皆様の参加をおまちしています。(壮年会・婦人会)

日時 : 9月17日(日) 10時ミサ後  
参加費 : 300円(ビール、飲み物付き)

なお、当日のイグナチオ喫茶はお休みです。



★チャリティーバザー企画チームより★

六甲教会チャリティーバザー

11月12日(日)10:00

ご存知ですか？

11月のチャリティーバザーが話題になっています。

- ① チャリティー先って知ってる？
- ② リサイクルショップや100均が盛んで、教会は苦戦ですって！
- ③ ボランティアって、JOB(仕事)でなくてJOY(喜び)なのよね。
- ④ バザーって教会一致のシンボルね。タワーみたいに外からも見える。





## みんなの広場

### 安芸神父さまの思い出

安芸神父様との最初の出会いは、私が高2の時でした。その後、私が新任の教師として六甲学院で赴任した時の学年担当司祭が安芸神父さまでした。

当時の六甲学院には中1から高3まで一人ずつ司祭が付いて、生徒の宗教教育を一手に引き受けていました。安芸神父様は大学出たての駆け出し教師であった私を、生徒のための聖書研究会に「神父様のお手伝い」ということで参加させて下さいました。

現在の六甲学院には司祭が一人しかおらず、信徒教員が生徒の宗教教育を担当するのは当たり前ですが、「司祭と信徒の協働」という当時としては新しい考えをすでに実践されていたのではないかと思います。六甲学院の一人の信徒教員が始めた「長崎への道巡礼団」の指導司祭を安芸神父様が引き受けられたこともありました。

信徒の活動を時には裏で支えてくださった安芸神父様。そして見かけによらず？愛敬のある性格で多くの人に愛された安芸神父様。司祭と信徒がお互い支え合ってそれぞれの役割を果たしていくという「協働」を、生涯をかけて実践されたのが安芸神父様ではなかったのかと思います。

(古泉)

#### <訃報>

8月10日(木)12時5分、安芸瑛一神父(享年84歳)がご帰天されました。永遠の安息をお祈りいたします。安芸神父様、ありがとうございました。



### 見えないもの

“居る”と言うべきか、“在る”というべきか、人間の五感には触れないが存在する、時に応じて五感に触れる形で現れる。

大天使聖ミカエルには、黙示録に武勇伝がある。聖ガブリエルは神のお告げの使者として新約聖書に記述されている。聖ラファエルは旧約聖書のトビト記に旅人の姿で現れる。

人類には一人一人に一位の天使が守護者として遣わされている。それでも罪に走る。天使がサボっているからではない。

天使の中にも墮落したのがいた。いや、今もいる。“悪魔”と呼ばれる。

“天使”、“悪魔”、空想ではない。実在である。

9月29日は三大天使の祝日、10月2日は守護の天使の記念日。

(ヨハネ 三好)



～ 教会事務所休み ～  
10月9日(月) 体育の日

教会報 10月号の発行は、10月1日(日)です。  
原稿は9月17日(日)までに教会受付へご提出  
ください。FAX 及びメールでも受付いたします。

(広報部)

<http://www.rokko-catholic.jp>

カ	ト	リ	ツ	ク	六	甲	教	会				
〒657-0061	神	戸	市	灘	区	赤	松	町 3-1-21				
電	話	0	7	8	-	8	5	1-2846				
F	A	X	0	7	8	-	8	5	1-9023			
発	行	責	任	者	ア	ル	フ	レ	ド・セ	ゴ	ビ	ア
編	集	広	報	部								